

第 12 回春季全日本小学生男子ソフトボール大会 優勝

兵庫播州クラブ 主将 島津 宏輝

全国大会でマウンドに立つのは初めてだったので、緊張しました。でも、実際に投げしてみると本当に最高で、楽しく感じました。

良かったと思ったところは、気迫のこもったピッチングが出来たことです。絶対に抑える！という気持ちをむき出しにしてプレー出来たと思います。守備も良く守ってくれました。みんながしっかり、フォローしてくれていなかたなら、優勝は出来なかったと思います。まだまだ、できていないところが多いので、しっかり夏までにおさえていきたいです。バッティングでもしっかり仕事を 100%できるようにしたいです。

本当にいい思い出になりました。もうワンランクもツーランクも強くなり、夏春夏連覇の快挙を成し遂げられるよう努力します。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

兵庫播州クラブ 監督 藤本 英樹

この度、兵庫播州クラブが第 12 回春季全日本小学生男子ソフトボール大会において、優勝という最高の結果を残すことができました。

これもひとえに、貴協会並びに関係者の皆様方の多大なるご支援・ご協力をいただいた賜物であると、心より感謝する次第です。

本当にありがとうございました。

選手達は全国大会という大舞台で、これまでの厳しい練習で培った技術、精神力をいかんなく発揮し、強豪相手の厳しい試合を勝ち抜くことができました。

練習量では全国でもトップクラスにあると自負するチームですので、選手達はもちろんのこと、父母の皆さん方やチームスタッフも相当の苦労があったことと思います。そういった意味でも、正に「チーム一丸となって勝ち取った優勝」であると、感慨ひとしおであります。

今後も、この結果に満足することなく、ひた向きに練習を重ね、「勝つことの素晴らしさをチーム皆で喜び合えるチーム運営」を目指し、邁進していく所存です。最後になりましたが、兵庫播州クラブの運営に際し、今後も変わらぬご支援・ご協力をいただきますようお願いを申しあげ、優勝報告の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。